

総合的な学習の時間 学習指導案

枕崎市立桜山中学校

4月17日(水)第1～4校時

全学年男子91名女子72名計164名

指導者 全職員

1 単元名 お茶摘み

- 2 本時の目標
- (1) 茶摘みの体験活動を通して勤労の大切さや喜びを体験する。
 - (2) 集団活動において、助け合うことや自分の役割をきちんと果たすことの意義を学ぶ機会とする。
 - (3) 地域の基幹産業に触れ、勤労の尊さやふるさとについて学び、生活の知恵や豊かな心を育む。

3 時間 4時間

4 本時の実際

| 過程 | 主な学習活動 | 時間 | 指導上の留意点 |
|-----|--|----|---|
| 導入 | ・学校から茶畑への移動 | 30 | ・安全に留意して移動させる。 |
| | ・お茶の歴史や地元の産業について話をするとともに本時の目標について確認をする。 ・本校の茶畑の歴史や茶摘みの仕方についてPTA施設部長が説明する。 | 15 | ・生徒が地元の産業に興味・関心を持つように話を工夫する。 ・先輩たちの残してくれた茶畑に感謝するとともに安全に気をつけながら意欲的に茶摘みができるよう留意する。 |
| 展開 | 1 担任とともに指定された茶の所に移動 | 30 | ・摘む範囲を確認し一生懸命摘むよう声掛けをする。 |
| | 2 一回目の茶摘み開始 ・小さい袋(かご)に一人一人が摘んだお茶の葉を入れる。 ・大きい袋にはそれぞれが集めたお茶の葉を入れる。 | | ・正しい方法で摘まれているか確認し適宜指導をする。 ・健康観察をし安全に心がける。 ・日頃余り話のできない生徒や気にかかる生徒とできるだけ会話をする。 |
| | 3 休憩 | 20 | ・健康状態を確認する。 |
| | 4 二回目の茶摘み開始 ・大きな袋に一人一人が集めたお茶の葉を入れる。 | 40 | ・能率の落ちている生徒に声掛けする。 |
| まとめ | ・集合し健康観察や講評をする。 | 10 | ・よく頑張ったことを評価する。 |
| | ・茶畑から学校へ移動 | 30 | ・教師が間に入り安全に留意して移動させる。 |

5 評価

- (1) 枕崎の産業について理解し意欲的に取り組むことができたか。
- (2) 自分の役割を理解しきちんと責任を果たすことができたか。
- (3) 安全に配慮することができたか。

PTA施設部の方々を中心に除草作業や追肥などの手入れを随時行ってもらっている。また、卒業生のお茶業者の方の協力・指導をもらいながら進めている。

摘んだお茶で緑茶と紅茶の製品にし5月の連休のかつお祭りの時、生徒会を中心にして販売している。

販売した収入は肥やし代とし、残金を図書室の本購入の費用にしている。